



公立宍粟総合病院 地域連携室だより

当院の理念

<私たちは地域の皆様から信頼され親しまれる病院を目指します。>

基本方針

①良質の医療 ②地域医療 ③医療安全
④相互連携 ⑤患者サービス ⑥チーム医療



公立宍粟総合病院 地域連携室

TEL: 0790-62-2425 (直通)

FAX: 0790-62-2522

病院ホームページ: <http://www.shiso-hp.jp>



関係各位

初冬の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご配慮を賜り感謝いたしております。12月号を作成いたしましたのでご高覧下さい。

お知らせ

◆**小児科休診のお知らせ: 12月より輪番日以外の日曜日・祝日は暫く休診となります。大変ご迷惑をおかけします。**

循環器内科・呼吸器外来など専門外来は予約制にしております。お問い合わせください。

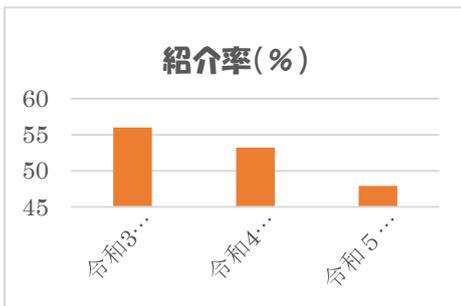
12月27日(水) 循環器内科 観田医師休診

宍粟総合病院輪番日(当番医): **12月30日(土)・令和6年1月1日(月)・・・内科・外科・小児科。**

※小児科午前中のみ 受付は11時まで。



◆紹介率の推移より



令和3年度後期から、紹介患者数が減少。「コロナ感染拡大期」に入り、診療体制や病棟運営に変化があり、また院内のクラスター等が、最も紹介患者数に影響した要因だと考えています。

令和5年度に入り、コロナ感染が5類となり、診療体制、病棟運営も「コロナ」前の状態に戻っております。

引き続きご紹介をよろしくお願いいたします。



◆診療部より

小児科より

皆様、こんにちは。本日は小児科から、舌下免疫外来のご紹介をいたします。

当院小児科は、今年4月から前田・小野に加えて長谷川医師を迎え、3人体制で頑張っております。小児科で診療をしていると、アレルギーの患者さんが増えてきており、特に花粉症や花粉-果物症候群は近年当地域で問題となっております。突然スギ花粉症が発症し、ほうっておくと、ヒノキ→カバ属やブナの花粉症・イネ科花粉症・キク科花粉症(人によって順番は前後しますが)と様々なアレルギーを獲得していきます。そして、それぞれの花粉の蛋白と交差反応のある果物・食物のアレルギーを発症するという泥沼に落ちていくのを見てきました。特に最近ではスギ花粉症の発症の低年齢化が問題となっております。

数年前から小児に適応となったスギ花粉の舌下免疫療法は、他の花粉のアレルギーの発症を予防する事が分かって来ました。以前は皮下免疫療法しか無かったため、毎回皮下注射するので希望者がなかったのです。今は舌下に1~2分保持後、はき出すか飲み込むのを毎日、3~5年間続ける事で免疫寛容へ導く事が9割くらいの方で出来ます。

当院小児科では、3人とも講習を受け、**舌下免疫療法が出来ますので、毎週木曜日午後(15時~17時)に舌下免疫外来(対象:子供~大人)を行っています。**舌下保持が出来る5~6歳から64歳までの方の、ダニと杉のアレルギー性鼻炎に対し、保険診療が出来ます。患者様から電話予約出来ますので、スギ花粉症のみの患者様には特にご紹介いただけましたら幸いです。

小児科医師: 小野真佐奈

